

「県地区福祉のまちづくりプラン」の進捗状況

団 体 名	重点項目（取り組み）	実施済み（取り組み内容）	これからの取り組み
県公民館	・地域交流イベントの活性化 ・地域独自の風習の記録を作成する ・風習・伝承の情報発信 ・文化財や歴史の資料を作成する ・文化財や歴史の情報発信	・令和7年度から公民館祭ときないや・いかいや市を統合した「あがたフェスティバル」を開催 ・「風習」は、しめ縄づくり、門松づくり、とんどさんを継続していきたい ・「健康ウォーキング」は、毎年場所を変えて継続 ・「文化財や歴史」の情報発信として、「小林裕のひとりごと」を不定期で全戸配布	・地域独自の風習の記録を作成する
自治連合会	自治会毎の支え愛マップ作成促進	避難場所について要望書を米子市に提出	・「支え愛マップ」は、未実施の自治会が数箇所ある（8割作成済）
社会福祉協議会	・買い物手段の拡充 ・研修会（意見交換会）の実施 ・人材・ニーズの調査 ・活躍の場の充実	・「買い物支援」は、魚屋さん、マックスバリュ、パン屋さんの移動販売車を継続 ・「お役立ち人材」の登録を令和6年度に実施 ※「県地区防災士ネットワーク（11名）」を令和6年度に結成し、令和7年度には夏休みに「親子防災教室」を開催 ※「登録医療従事者」の方に、夏まつりや運動会等の救護担当を依頼 ・「子どもボランティア表彰制度」を令和6年度に創設 令和7年度以降は大人も対象に継続 ・「相談支援」は、令和6年8月～12月まで「地域ケア会議」を開催 ・「移動支援に関する地域ケア推進会議」を行政機関、各種団体代表者と令和7年11月～開催 ・各種事業の啓発のため、のぼり旗20本作成及	・「買い物支援」は、コミュニティバスの試験運行と合わせて検討中 ・地域社会福祉部会が中心となり支え愛マップ作成の呼びかけを行う

		びベンチ50脚購入	
民生児童委員協議会	- 子育て役立ちマップの作成 - 相談できる場づくり	子どもの居場所づくりに協力	「遊び場マップ」を令和8年度に作成したい - 相談できる場づくりについて、PR、啓発を行う
青少年育成会	体験型イベントの実施	「体験型イベント」は、世代間交流としてサツマイモの苗植え・収穫 「居場所づくり」で、夏休み教室、親子防災教室、寺子屋は2箇所に拡充して実施 「リーダー育成」では、中学生への参加呼びかけ 夏まつりには29名の参加 「県地区ボランティアクラブ」を7名で結成	
自主防災組織連絡協議会	- 除雪協力体制の構築 - 防災訓練の実施及び推進 - 防災勉強会の実施と情報発信	「除雪体制」は、各自治会で取り組んでいる 費用については、米子市の補助金あり 機械を持っておられる地元の方に依頼 - 令和7年度は地区全体で「認知症行方不明者搜索模擬訓練」を実施、同時に防災食試食会実施 - 親子防災教室への協力	
防犯協議会	学校区内の危険個所の把握と情報発信	- 不審者情報の発信 - 登下校の見守り - 青色パトロールで箕蚊屋中学校区を巡回	
環境をよくする会	- 通学路等の清掃活動の推進 - 緑の募金事業	- 通学路の除草作業の実施（年2回） - 市内一斉清掃（春・秋） - 公民館周辺の植栽	
地域福祉推進委員会	全体の進捗状況の確認と評価	のぼり旗を10枚作成、公民館前等に掲げている	「まちづくり通信」の発行